



最近の山梨県の経済情勢

令和 8 年 8 月 5 日

財務省関東財務局

甲府財務事務所

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項 目	前回（8年4月判断）	今回（8年7月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

（注）8年7月判断は、前回8年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直している。

【各項目の判断】

項 目	前回（8年4月判断）	今回（8年7月判断）	前回比較
個人消費	持ち直している	持ち直している	
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	
設備投資	7年度は増加見込みとなっている	8年度は減少見込みとなっている	
企業収益	7年度は減益見込みとなっている	8年度は増益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超幅が縮小している	「上昇」超に転じている	
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が持ち直しを支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を引き続き注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直している」

百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額、ホームセンター販売額、家電大型専門店販売額はいずれも前年を上回っている。乗用車の新車登録届出台数は前年を上回っている。観光・宿泊は持ち直している。これらのことから、個人消費は、持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 客数、点数は減少傾向にあるものの、商品価格の値上がりにより売上高は前年並を維持している。(百貨店・スーパー)
- 消費者の節約志向がみられるなかでお得感のあるキャンペーンの引き合いは強い状況が続いており、売上げが増加している。(コンビニエンスストア)
- 近年は気温が高くなるのが早いと、3月頃からプール用品や虫よけスプレーの販売を始めたところ、気温が高くなり始めた4、5月から売行きが好調であった。(ホームセンター)
- 2027年問題によるエアコンの駆け込み需要や国際的なスポーツイベントによる大型テレビの需要増加により、当期の売上げは伸長した。(家電量販店)
- 当期の売上高は、環境性能割の廃止を見越して納車を急がない顧客が4月以降の納車を選択したため、前期比、前年同期比でプラスとなった。(自動車販売)
- 国内団体客が好調なことに加え、以前は少なかった韓国からの予約が増加するなど、外国人客も増加しており、売上高は前年同期比、前期比ともに上回っている。(宿泊)

■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

食料品、電子部品・デバイスは減少しているものの、生産用機械、電気機械などは増加しており、生産活動は全体として緩やかに持ち直しつつある。

- AIデータセンター向けの半導体が好調であることから、半導体製造装置の需要も増加している。それに加えて、他の半導体向けの投資も増加していることから、前期と比較して生産量は増加している。(生産用機械)
- 国内外における需要の増加に伴い、前年同期比、前期比ともに生産量が増加している。海外でEV、スマートフォンの売行きが好調であり、当社の主力製品は、一部分野を除けばいずれも好調で、生産量の増加に寄与している。(電気機械)
- 物価上昇の影響もあることから、想定よりも売行きが伸びていないため、在庫量との兼ね合いで計画的に生産量を減らしていく。(食料品)
- 国内において、値上げ前の駆け込み需要があることに加え、海外における需要が堅調であることから、前期比で生産量は増加している。(汎用機械)

■ 雇用情勢 「持ち直している」

人手不足を背景に企業の採用意欲が高い状況にある中、有効求人倍率は上昇し、新規求人数は増加しており、雇用情勢は持ち直している。

- 人手不足感は相変わらず強く、優秀な人材を確保するために、ハローワークでの求人に加え、エージェンツを利用したり、県内の高校を回って当社をアピールしたりしている。(製造)
- 雇用時に一時金を支給するなど工夫したが、当社よりも時給が高い観光業や製造業に人が流れている。また、山梨県の人口が減少傾向なこともあり、採用は苦勞している。(小売)
- 少子化の影響で新卒が減少していることに加え、首都圏の大手企業でも地方の高卒者の採用を増やしているため、県内企業は益々人手の確保が難しくなっている。(建設)

■ 設備投資 「8年度は減少見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 8年度の設備投資計画をみると、製造業では前年比▲30.7%の減少見込み、非製造業では同12.5%の増加見込みとなっており、全産業では同▲20.4%の減少見込みとなっている。

■ 企業収益 「8年度は増益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 8年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比70.3%の増益見込み、非製造業では同▲24.7%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『上昇』超に転じている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 景況判断BSIをみると、全規模・全産業ベースで「上昇」超に転じている。先行きについては、全規模・全産業ベースでみると、8年10-12月期に「下降」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、貸家は前年を下回っているものの、持家、分譲住宅は前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

最近の山梨県の経済情勢

資料編

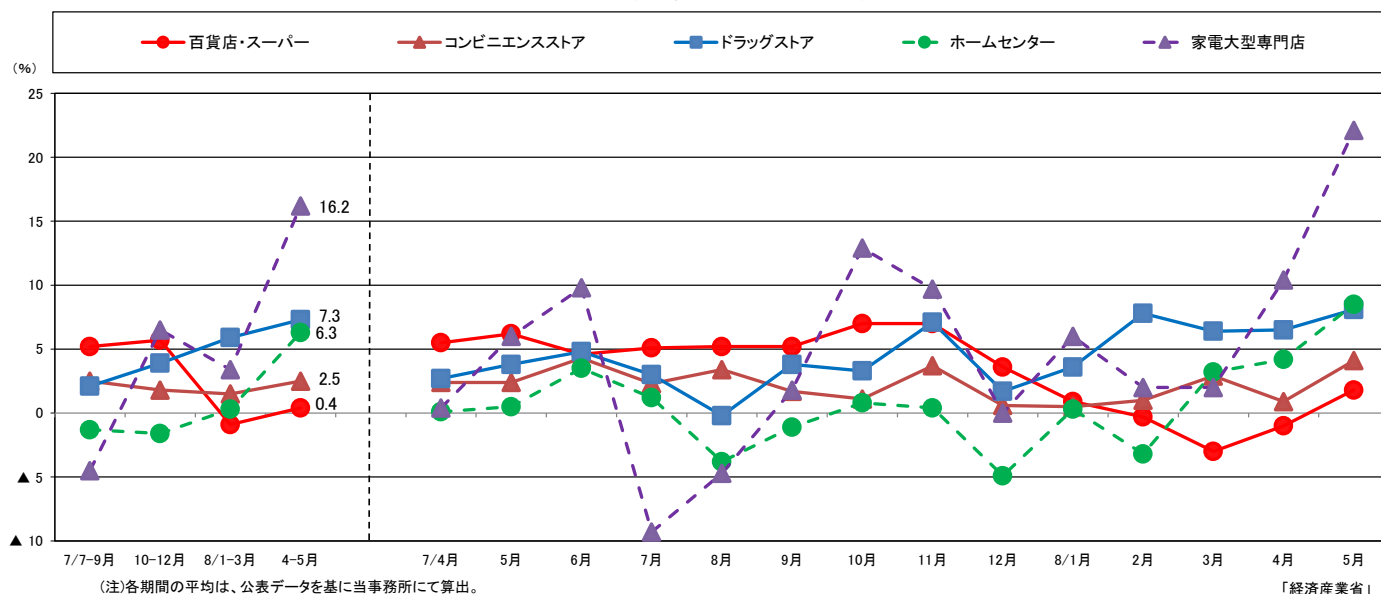
令和 8 年 8 月 5 日

財務省関東財務局

甲府財務事務所

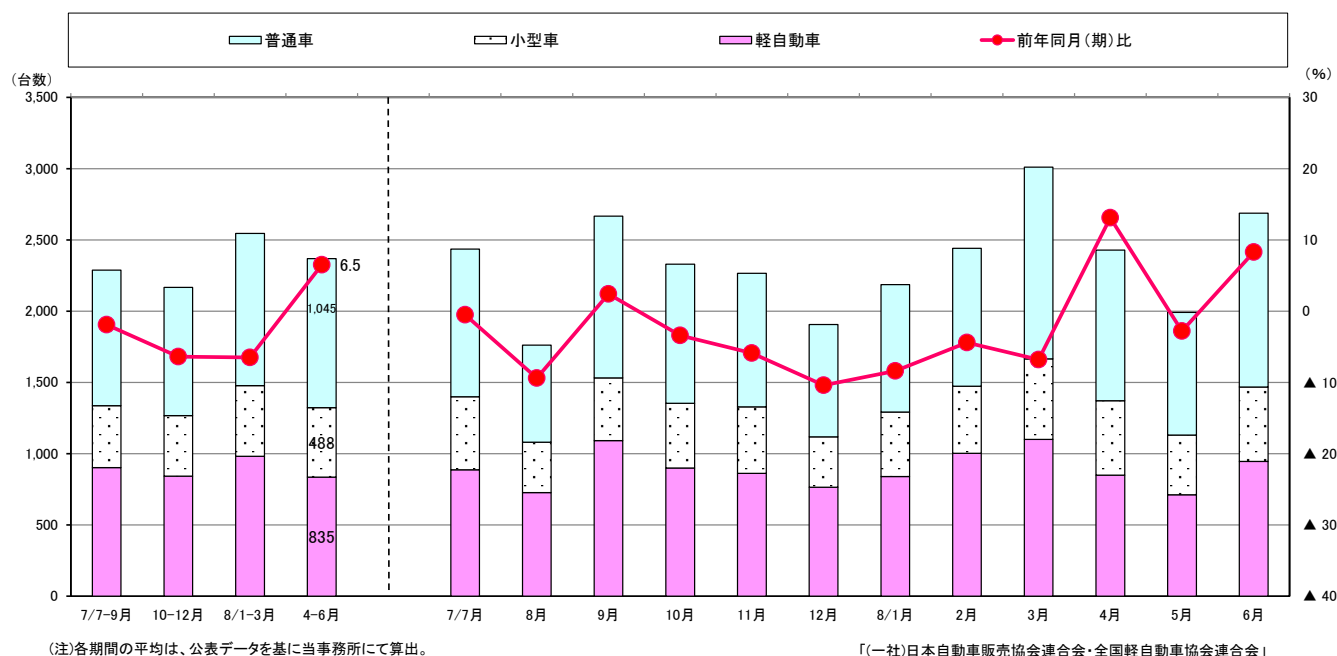
1. 個人消費 〔グラフ1〕

業態別販売額(県内・前年同月(期)比)



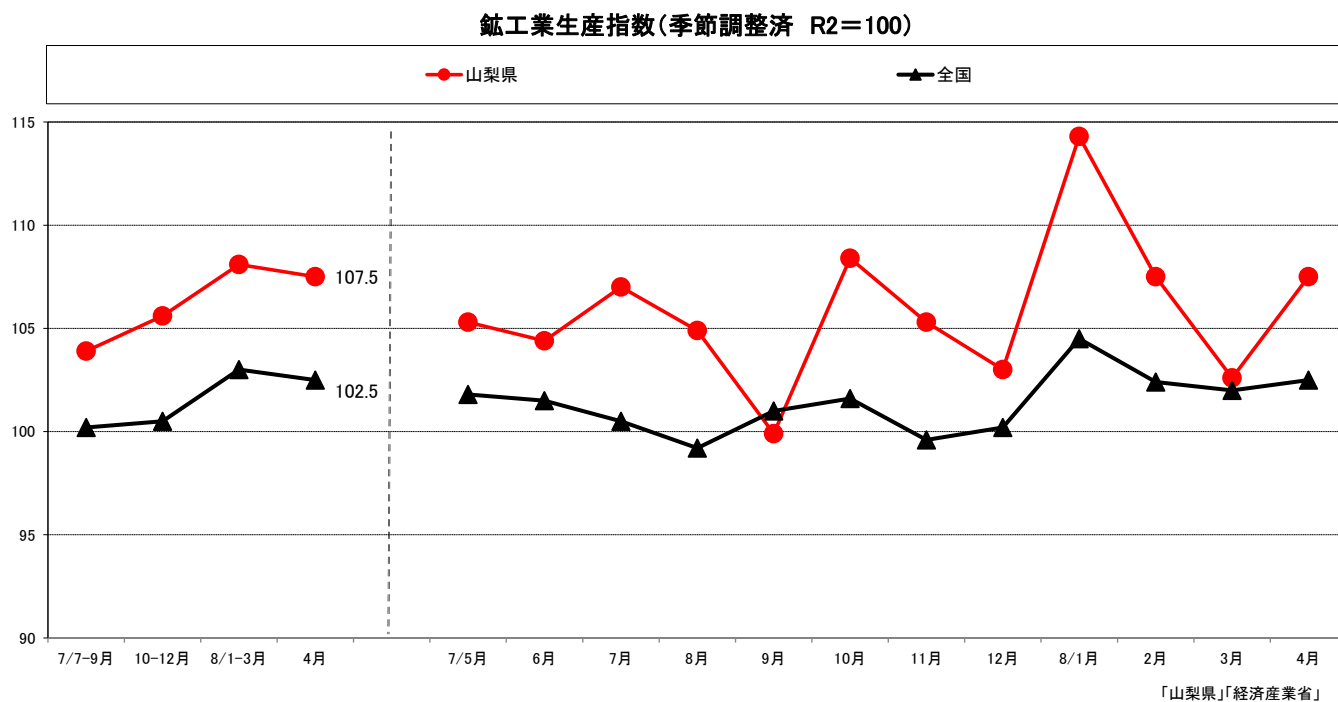
〔グラフ2〕

乗用車新車登録届出台数(県内)

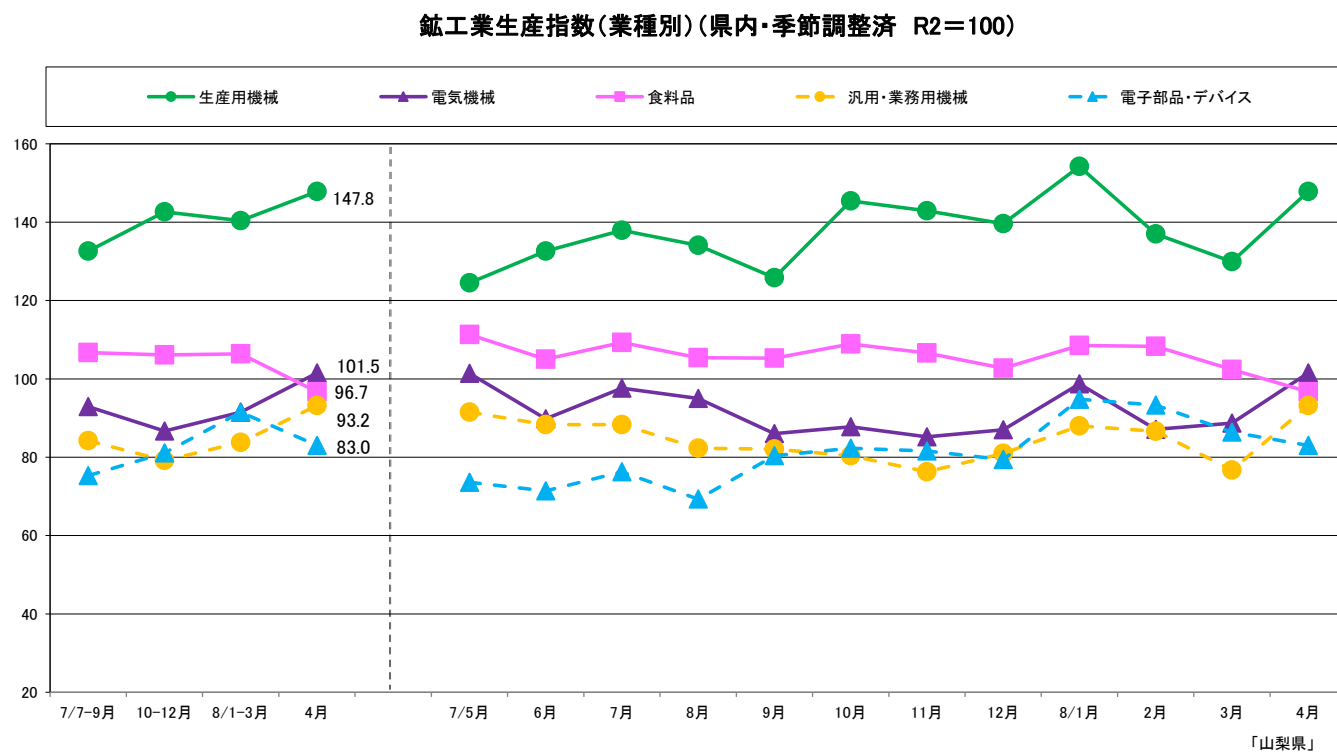


2. 生産活動

〔グラフ3〕

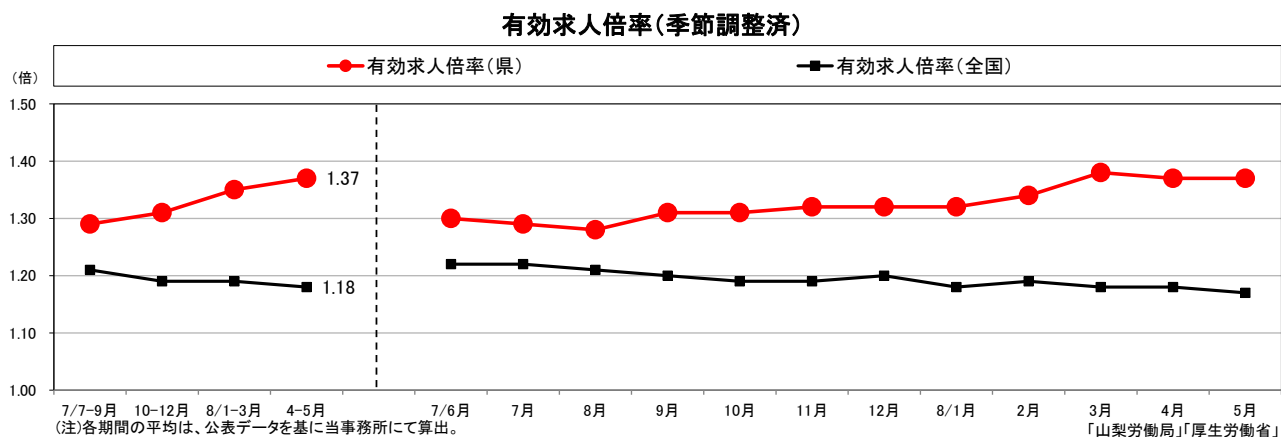


〔グラフ4〕

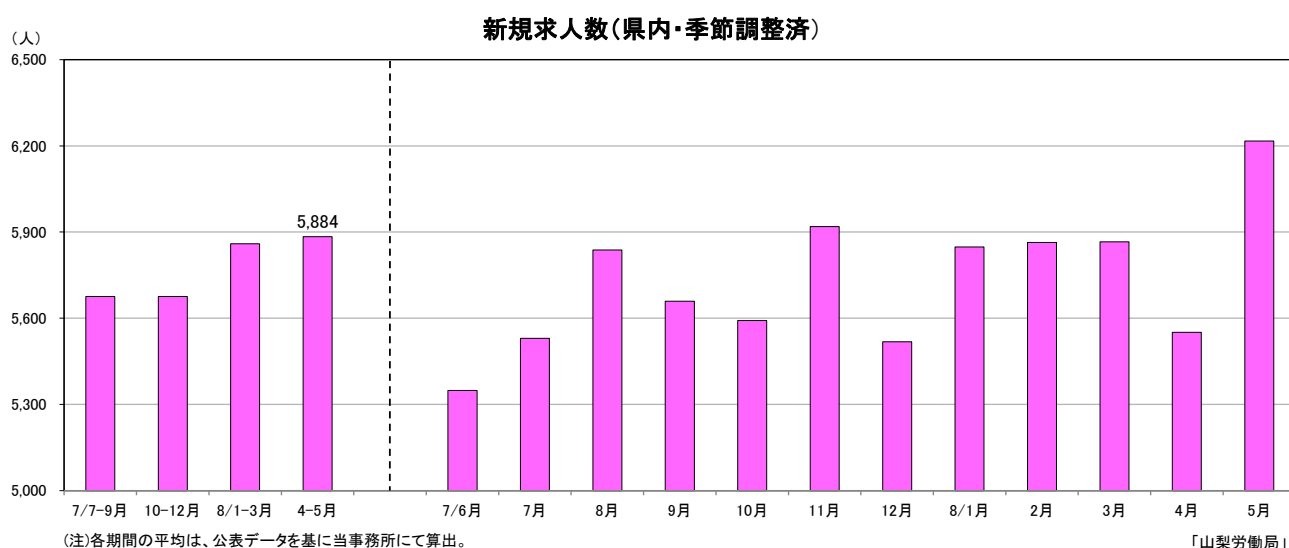


3. 雇用情勢

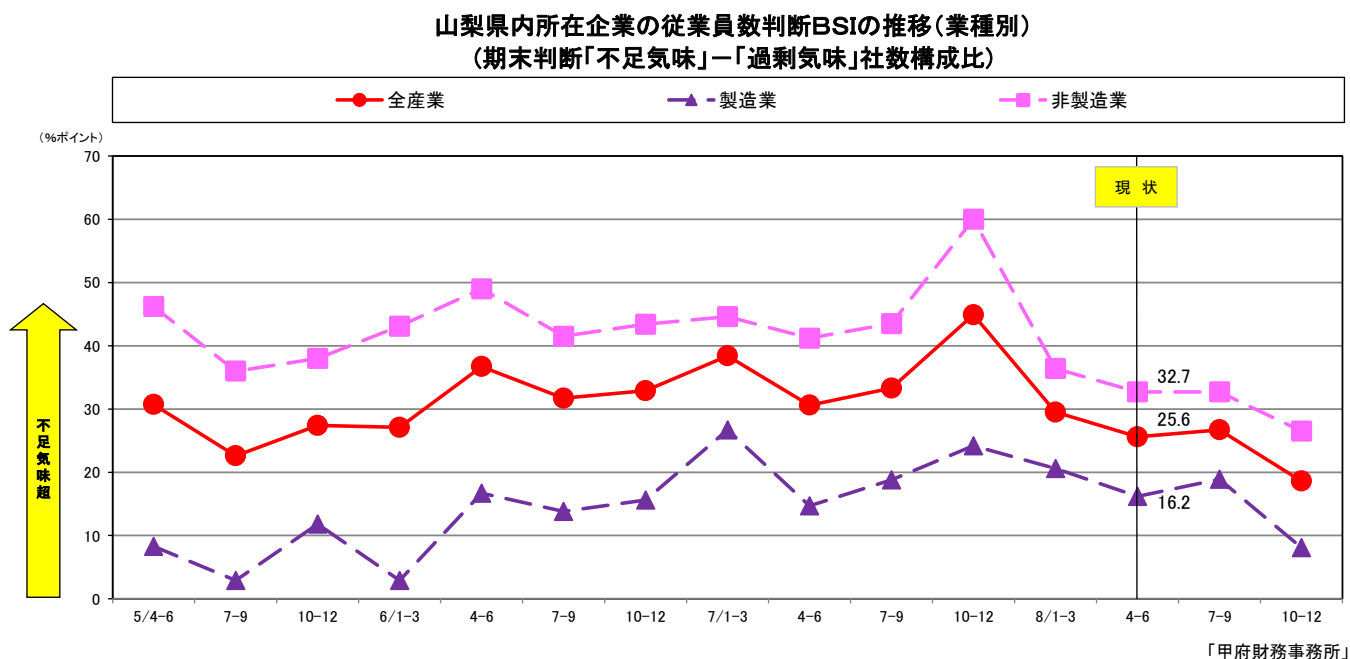
〔グラフ5〕



〔グラフ6〕



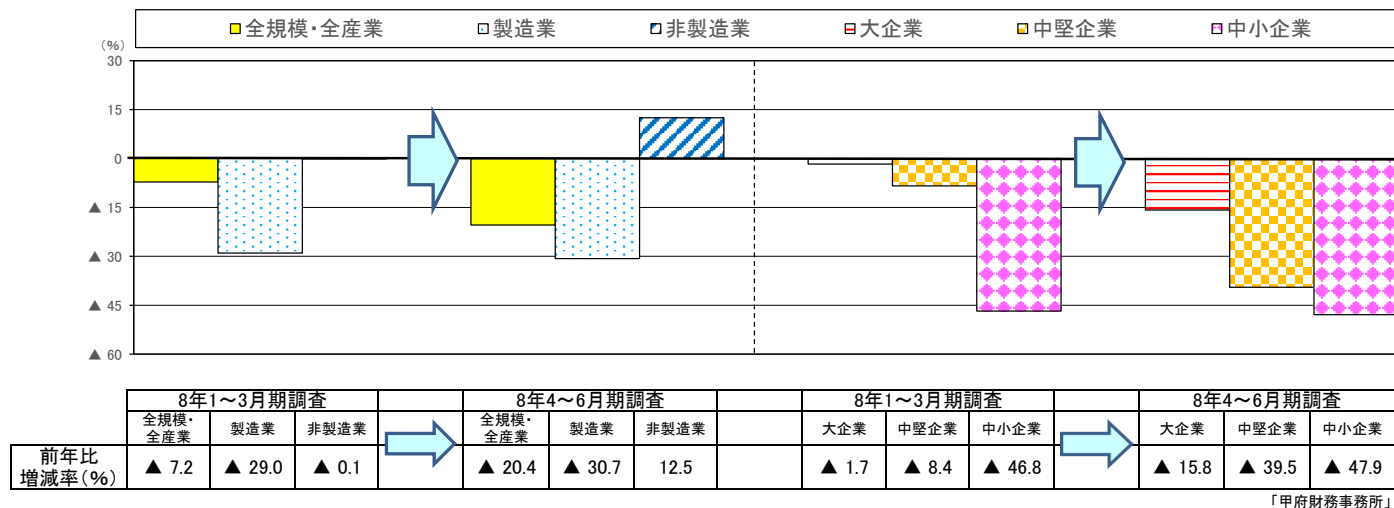
〔グラフ7〕



4. 設備投資

〔グラフ8〕

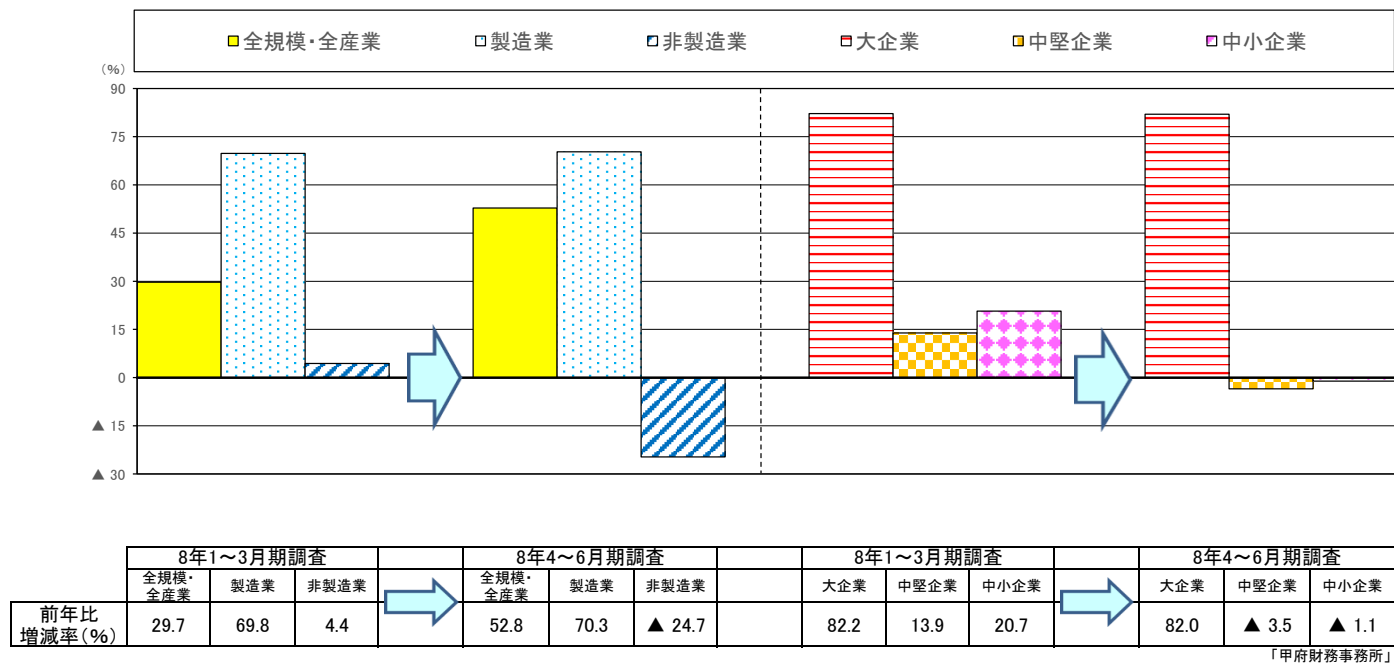
山梨県内所在企業の設備投資計画(除く土地購入額 含むソフトウェア投資額、前年比増減率：%)



5. 企業収益

〔グラフ9〕

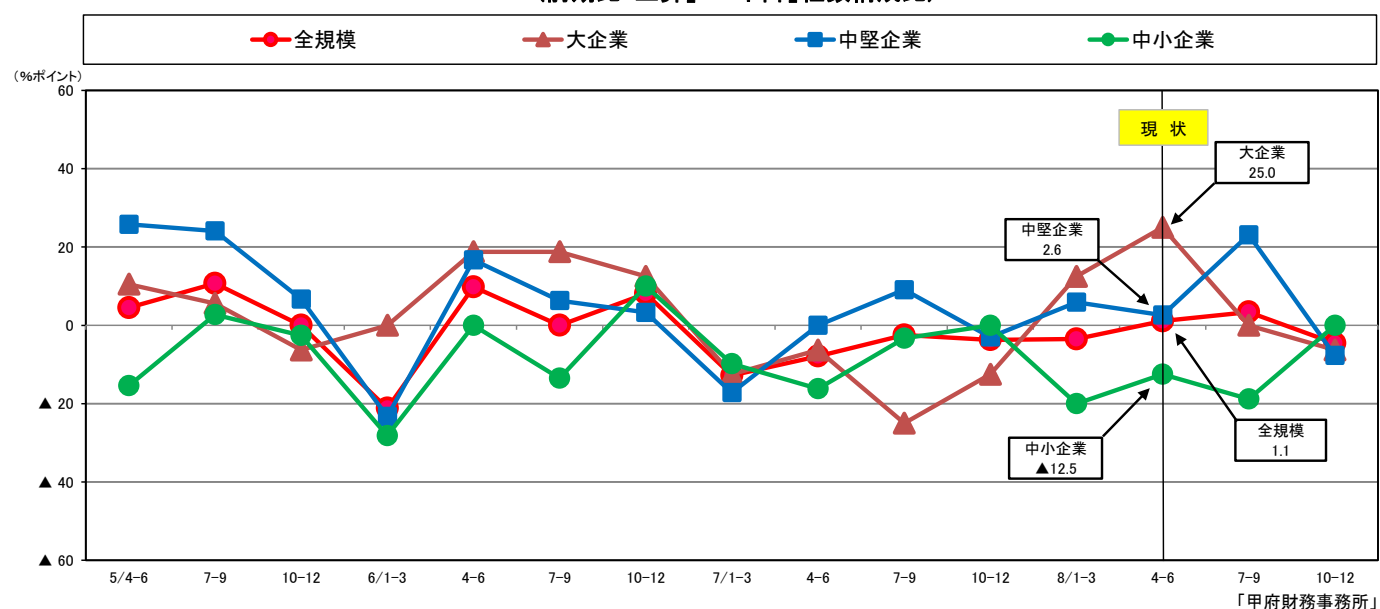
山梨県内所在企業の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」、前年比増減率：%)



6. 企業の景況感

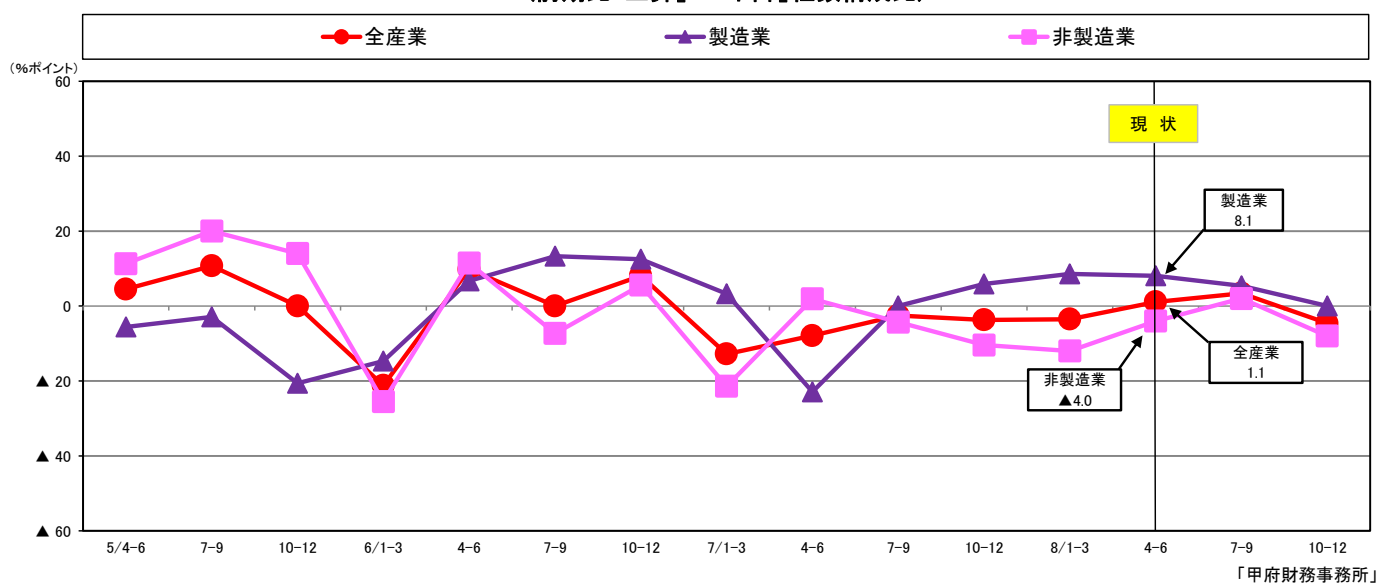
〔グラフ10〕

山梨県内所在企業の景況判断BSIの推移(規模別)
(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)



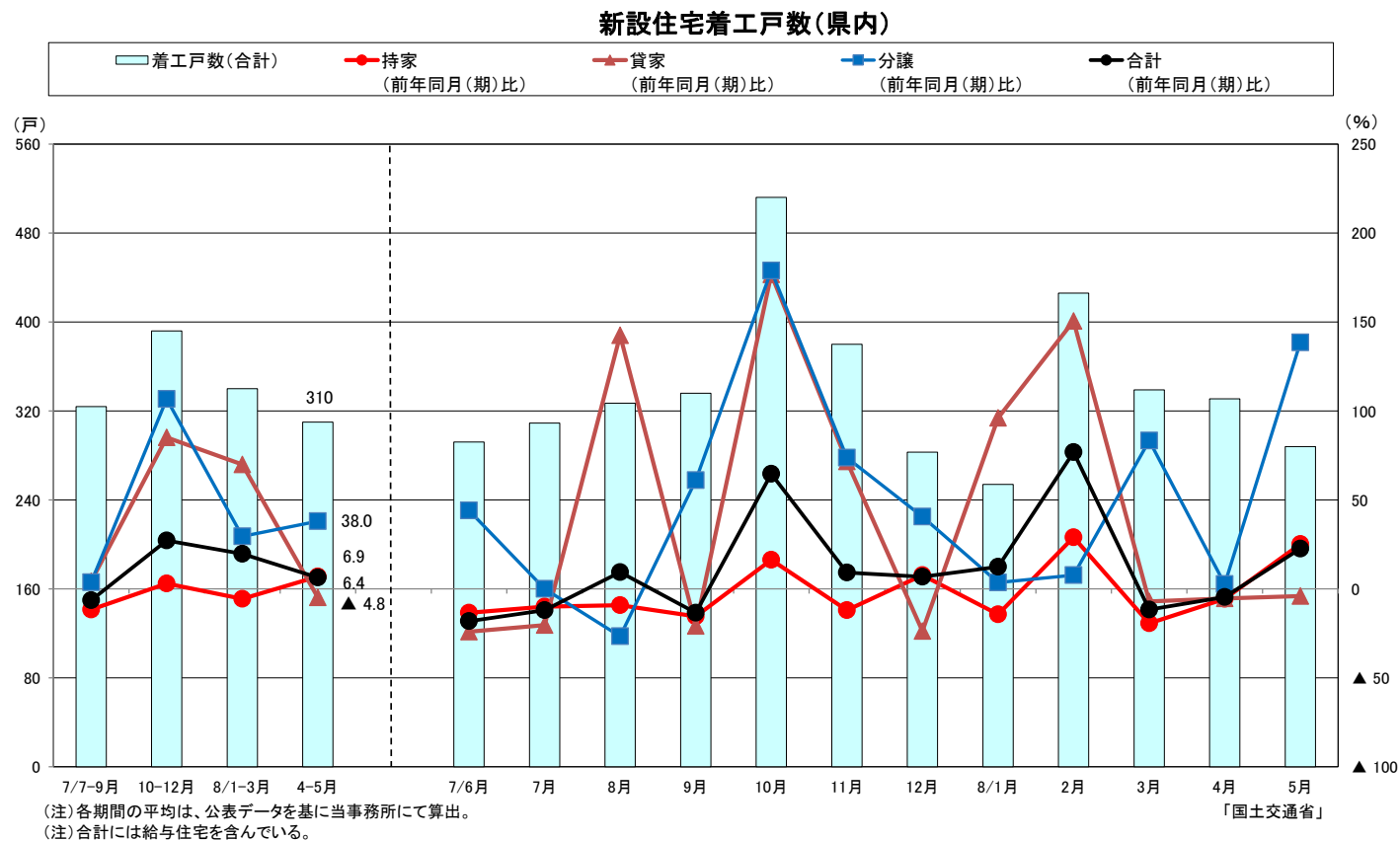
〔グラフ11〕

山梨県内所在企業の景況判断BSIの推移(業種別)
(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)



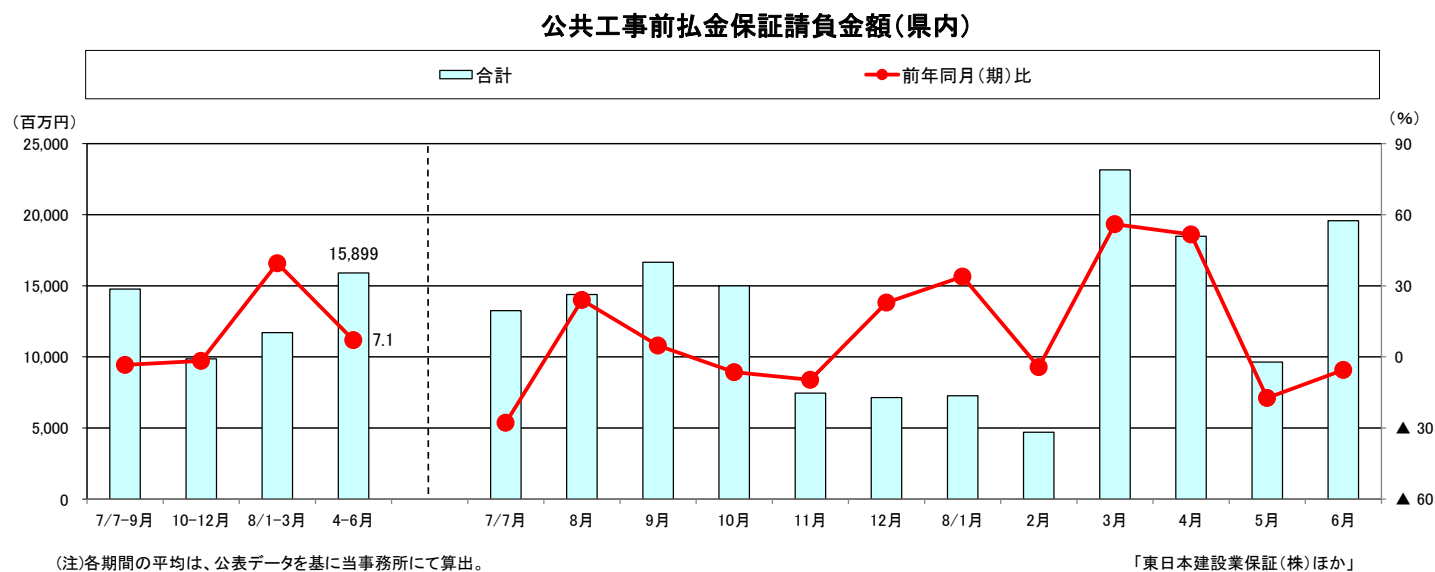
7. 住宅建設

〔グラフ12〕



8. 公共事業

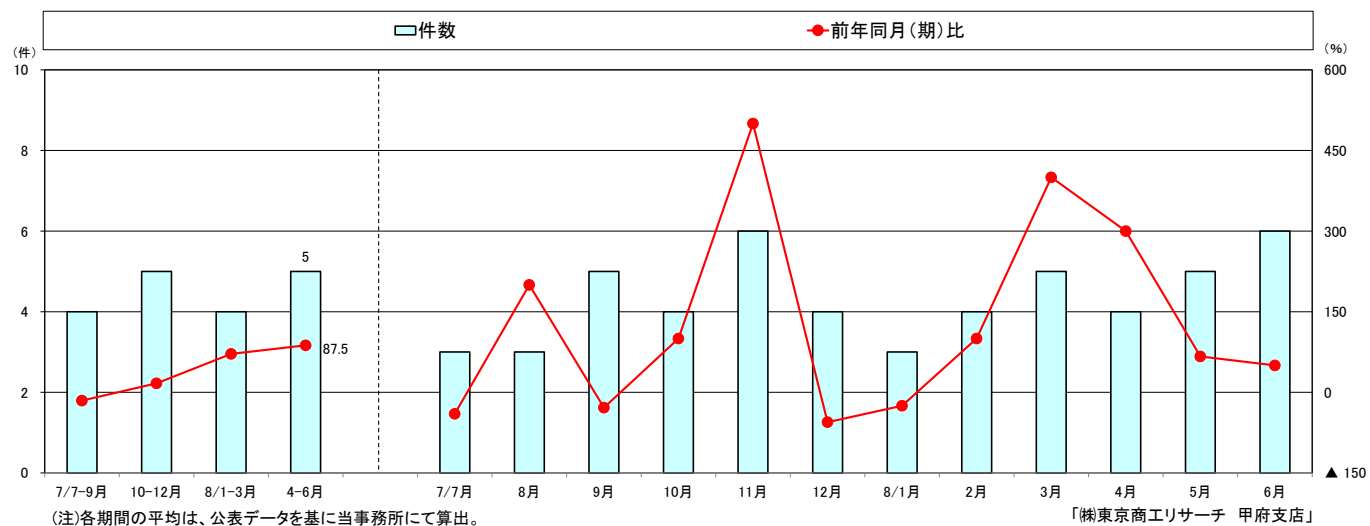
〔グラフ13〕



9. 企業倒産

〔グラフ14〕

倒産件数(県内)



〔グラフ15〕

負債総額(県内)

